

夢への架け橋

～僕らの創る福祉の未来～

加世田常潤高校・生活福祉科

NEWS レター

創刊号(2023.5.1)

「笑顔あふれる福祉の未来のために」(文責:水江)

私達は加世田常潤高校の生活福祉科で福祉について学んでいます。学校での授業や様々な行事、介護実習を通して感じたことなどをより多くの人に知ってもらうために広報誌を発行することにしました。私たちは利用者の方により良い介護を提供し、笑顔になってもらうことを夢見ています。また、この夢は私たちだけのものではありません。利用者の方の夢でもあると思っています。

介護実習等を通して利用者の方と信頼関係を深め、利用者の気持ちに寄り添うことで、お互いの心を開くことができるようになると思います。そうすることで自分たちも輝いてくると考えています。しかし、そこにたどり着くことは簡単なことではありません。様々な苦しいことや経験をしてこそ私達自身が成長していくと思います。利用者の方を笑顔にすることが出来たり、人生の最期の時に「本当にありがとう」と言ってもらえる専門職を目指しています。利用者の方と共に笑顔になれる福祉の未来を創っていきます。自分たちの経験をより多くの人たちに広めていきたいと思っています。

夢

「2年生に進級して感じたこと」(文責:松清)

私が、2年生に進級して感じた点は、色々な人と会話をするようになったということです。一年生の時は、勇気が出なくて自分の考えや意見を話すこと、発言することが難しかったです。しかし、2年生になり、自分の意見にしっかり自信を持つことができました。そして、発言をする回数も増えました。そのきっかけは家族からアドバイスをもらったり、去年の文化祭のイベントで司会をした時に、自分の発言に参加の人が笑ってくれたこと等だったと思います。

自分の考えを授業中に発言をすることができたことにより、先生やクラスメートの人に自分の考えや気持ちを知ってもらうことができました。意見の交換をして相手の意見を知り、自分の考えの参考にすることができました。2年生では、福祉や普通教科の授業内容が難しくなり一年生のときとは違い、医療的ケアの勉強などの医療に関する授業も始まりました。新しい学年になり、勉強の内容も変わり学校にも慣れ楽しく過ごしています。しかし、気を緩めずに、学業や行事に一生懸命取り組んでいきたいです。

最新

介護福祉士養成講座

介護福祉士養成講座編集委員会

医療的ケア

【編集後記】

令和5年度がスタートし、あっという間に5月に突入してしまいました。昨年度までは感染症の影響によって介護実習等をはじめ学校教育が制限されることが多くありました。しかし、感染症対策をしっかりと取りながら施設での介護実習を実施できそうです。関係実習先の皆様のご協力に感謝いたします。新たに発行された本校生活福祉科の広報誌です。高校生が福祉の学びを通して何を感じ、何を考え、何を発信していくのか、その成長や変化にもご注目いただきたいと思っています。彼らが創ろうとする福祉の未来が楽しみな担任です。皆様よろしくお祈りします。

(学級担任 岩川亮太)